

限られた学生生活で、 興味があることをどんどん追求して

石丸聡子 熊本大学大学院自然科学研究科助教

地球科学に魅せられてこの世界へ

卒業研究からずっと地球の上部マントル由来の研究を行ってきました。岩石採取のために、これまでロシアやイギリス、トルコ、オマーンなどへ野外調査に出かけたりしています。

私は富山県出身で、金沢大学へ進学しました。博士取得後も金沢大学に研究員として残ったので、熊本に赴任して初めて北陸地方から出たことになります。



中学生の頃から地球科学に興味がありました。ただ「地球科学を研究したい!」という強い思いはなかったように思

います。大学4年生になって「研究らしきもの」を始め、最初はわからないことばかりだったのが、博士課程の学生になって少しずつ理解できるようになり、研究の奥深さや面白さを知りました。この好奇心をそのままにしておくのはもったいないと思ったことから、研究者の道を選んだような気がします。最初の一步は「なんとなく」でもOKだと思います。



どこへ行っても崖(露頭)が一番に気になるのですが、面白い岩石を見つけるととにかく嬉しい!

新発見をした時の喜びが 仕事へのモチベーションに

地球のマグマの大部分は上部マントルが溶けることで形成されるのですが、そのマグマのもととなるかんらん岩を解析し、マグマの形成プロセスや地球ができてから今までのように進化してきたのかを探っています。他の誰も知らない、または気がついていないかもしれないことを明らかにできる……これがこの仕事の魅力でもありやり甲斐ですね。また、対象としているかんらん岩が美しいことも、この研究に魅せられている理由のひとつです。

機器分析やデータ解析に没頭していると、気がつけば深夜になっていることがよくあります。最近は時間を決めて切り上げるようにするなど、オンとオフの切り替えを上手に行えるよう努力しているところです。

学生の時間というのは非常に限られていて、あっという間に過ぎてしまいます。漠然と過ごすのではなく、勉強や研究、サークル活動など、興味のあることをどん欲に追求して、大学生生活を謳歌してほしいと思います。



野外調査も毎回ワクワクするから不思議です



Satoko ISHIMARU

理学部地球学科
修士課程
大学研究員
大学教員

One day

7:00	起床
9:00	就業 講義・研究指導・論文など
19:30	終業
19:45	帰宅→夕食・洗濯など家事 入浴後自宅でデータをまとめたり文献を読んだりすることも
24:00	就寝

石がとても
綺麗なこと!
それも
この仕事が
好きな理由の
一つです

◎宝もの
リラックスする時間
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
ドライブ(遠出して日帰り温泉)

profile

いしまるさとこ / 2007年金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程環境科学専攻修了。理学博士取得。2007年から金沢大学での研究員を経て、2011年2月から現職。富山県出身。卒業研究からずっと地球深部のマントル由来の岩石の研究を行っている。

アンケート より

Q.目標となる女性研究者の具体像とは?

- 研究面、人格ともに優れている
- 研究と家庭との両立が見事
- 生き方がカッコいい
- 自分の地位の向上ではなく若手の育成に尽力している
- いきいきとして自分の魅力を最大限いかしている